

■「北杜市」からの文書（平成26年6月9日）

自022-1

北杜道河第413号
平成26年6月9日

国土交通省道路局
局長 徳山 日出男 様

北杜市長 白倉 政司



中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョンの策定について

青葉の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

本市におきましては、中部横断自動車道の整備を見据え、開通による沿線地域の将来像を明らかにして、恵まれた本市の地域特性を踏まえながら、地域活性化に結びつける取り組み・方策等を、地域住民自らが主体的かつ計画的に推進するため、市民の声の受け皿として学識経験者等からなる「中部横断自動車道活用検討委員会」を昨年7月に設置し、それらの指針となるビジョンの策定を進めてまいりました。

この度、ビジョン案に関するパブリックコメントの実施、多岐に渡る諸団体からの活用検討委員会における意見陳述など、多くの市民の声を反映した「中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン」の策定を完成させることができました。

策定にあたり、多大なるご支援を貴省からいただき、深く感謝申し上げます。

また、本市におきましては、「中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン」を達成するための道路プランについて、広く市民の意見を聞く仕組みの「北杜市中部横断自動車道活用検討委員会」を活用し、更なる対応の上、策定を進めてまいります。

つきましては、ビジョン策定時と同様に多大なご支援をいただけるよう、お願い申し上げます。

自022-2

中部横断自動車道を見据えた 北杜市まちづくりビジョン



平成26年3月

北杜市中部横断自動車道活用検討委員会

■「北杜市」からの文書（平成26年6月9日）

自022-3

北杜道河第413号
平成26年6月9日

国土交通省道路局企画課
課長 石川 雄一 様

北杜市長 白倉 政司



中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョンの策定について

青葉の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

本市におきましては、中部横断自動車道の整備を見据え、開通による沿線地域の将来像を明らかにして、恵まれた本市の地域特性を踏まえながら、地域活性化に結びつける取り組み・方策等を、地域住民自らが主体的かつ計画的に推進するため、市民の声の受け皿として学識経験者等からなる「中部横断自動車道活用検討委員会」を昨年7月に設置し、それらの指針となるビジョンの策定を進めてまいりました。

この度、ビジョン案に関するパブリックコメントの実施、多岐に渡る諸団体からの活用検討委員会における意見陳述など、多くの市民の声を反映した「中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン」の策定を完成させることができました。

策定にあたり、多大なるご支援を貴省からいただき、深く感謝申し上げます。

また、本市におきましては、「中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン」を達成するための道路プランについて、広く市民の意見を聞く仕組みの「北杜市中部横断自動車道活用検討委員会」を活用し、更なる対応の上、策定を進めてまいります。

つきましては、ビジョン策定時と同様に多大なご支援をいただけるよう、お願い申し上げます。

自022-4

中部横断自動車道を見据えた 北杜市まちづくりビジョン



平成26年3月

北杜市中部横断自動車道活用検討委員会

「北杜市」からの文書（平成26年6月9日）

自022-5

ヒアリング意見	意見の分類							
	①地域活性化	②観光	③くらし	④環境	⑤その他			⑥左記項目に属さない事項
					寄与できる提案等	委員会の進め方	意見の反映方法	
・道の問題は地域の活性化と結びついているというのは当初から考えていたことだし、私たちからもアイデアを出していきたいと考えている。	・道の問題は地域の活性化と結びついている ・アイデアを出していきたい	・アイデアを出していきたい	・アイデアを出していきたい	・アイデアを出していきたい	・アイデアを出していきたい			
・この問題は、地域に与えられた課題と捉え、一緒に検討していきたいと考えている。	・地域に与えられた課題 ・一緒に検討していきたい	・地域に与えられた課題 ・一緒に検討していきたい	・地域に与えられた課題 ・一緒に検討していきたい	・地域に与えられた課題 ・一緒に検討していきたい	・地域に与えられた課題 ・一緒に検討していきたい			
・例えば、南麓には2つの森がある。高根と旭山・堤山。これを避ける方法はあるだろう。鳥ならば50種類はいる。他にも様々な動植物が生息している。この南麓を通さないでほしい。				・高根と旭山・堤山。これを避ける方法はある ・様々な動植物が生息している ・南麓を通さないでほしい				
・国道141号の活用、改修についても検討してほしい。			・国道141号の活用改修についても検討(※1)					
・高速道路建設そのものに反対している訳ではない。								・高速道路建設そのものに反対している訳ではない。
・ハケ岳PAから長坂ICの間は3kmしかないが、その間にもう一つICを作るのは常識的に考えて危険ではないか。			・ハケ岳PAから長坂ICの間は3kmしかないがその間にもう一つICを作るのは常識的に考えて危険(※2)					
・遺跡の問題についても、方が一埋蔵文化財がでてしまうと10年ぐらいは止まってしまうこれも経済的な損失が大きいだろう。				・遺跡の問題についても、方が一埋蔵文化財がでてしまうと10年ぐらいは止まってしまう。(※3) ・これも経済的な損失が大きいだろう(※3)				
・地域の医療体制をどう考えたら良いか、市内の道路網をどうするか。			・地域の医療体制をどう考えたら良いか、市内の道路網をどうするか。					
・検討会は国のルート検討、構造検討に対して、市としての意見をとりまとめていくものであり、検討過程の中立性・公平性を十分に確保する必要がある。一部、土地等の報道もある中で、中立性・公平性の確保についてしっかりと検討会で議論すべき。								・検討過程の中立性・公平性を十分に確保する必要がある。 ・中立性・公平性の確保についてしっかりと検討会で議論すべき。
・反対している者も、その反対の意味がある。検討にあたっては、その提案、意見を直接聞いていくべき。								・反対している者も、その反対の意味がある。検討にあたっては、その提案、意見を直接聞いていくべき。
・現状のB案について、我々は賛成である。								・現状のB案について、我々は賛成
・高速によって高根や清里がもっと発展してほしいと思っている。	・高速によって高根や清里がもっと発展してほしい							
・北杜市南部の地域の活性化をしたい。	・北杜市南部の地域の活性化をしたい							
・高速道路なので、やはりICがほしい。できればスマートIC。高速を降りなくても良い道の駅やSA、PA物販施設があると商業の活性化にもつながるので良い。その場所で、地域で作ったり採ったりしたものの販売ができればよい。	・高速道路なので、やはりICがほしい。できればスマートIC。高速を降りなくても良い道の駅やSA、PA物販施設があると商業の活性化につながる							
・ここに来るなら景観を見てもらいたい。高根はハケ岳・金峰山・富士山・南アルプスが一望できる場所にあり、北杜市でも自慢できる場所。		・ここに来るなら景観を見てもらいたい		・高根はハケ岳・金峰山・富士山 ・南アルプスが一望できる場所 ・北杜市でも自慢できる場所				

(※1) 国道141号は地域の生活道路としてとらえ「くらし」に分類しました。(※2)「安全な道路」という観点で「くらし」に分類しました。(※3) 遺跡の所在を環境と捉え、「環境」に分類しました。

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

自022-6

ヒアリング意見	意見の分類						
	①地域活性化	②観光	③暮らし	④環境	⑤その他	⑥左記項目に属さない事項	
				寄与できる提案等	委員会の進め方	意見の反映方法	
・旭山などに展望台のような見渡せる場所があると良い。山岳景観を売りにしているの、それを見られるような場所がほしい。		・山岳景観を売りにしているの、それを見られるような場所がほしい		・山岳景観を売りにしている			
・高根の兼業農家の平均年齢が上がっている。放棄地にはしておけないし、でも息子は土日しか手伝えないし、といった状況で人手が足りない。	・高根の兼業農家の平均年齢が上がっている。人手が足りない。						
・川上村から人を借りて田畑をやったりもしているが、できれば地元の人で農業をして、それをPAで販売できれば収入にもなるし、そういったところを期待している。	・地元の人で農業をして、それをPAで販売できれば収入にもなる。						
・商業の面からも、地域が活性化していないと盛り上がらない。今は、人が高齢化し、活力も減り、悪循環になっている面もある。	・商業の面からも、地域が活性化しないと盛り上がらない						
・北杜市ではトリートの社といった試みもしているが、長く滞在してもやること・行く場所があまり無いのも実情。1回くれば良いか、という雰囲気がある。	・長く滞在してもやること・行く場所があまり無い						
・リピーターを増やせるような仕組みが必要である。	・リピーターを増やせるような仕組みが必要						
・北杜市が求めているのが農業と観光、今後は、体験型の観光が主流になってくると思う。イベント等によって農業体験もできて、観光もできて、という切り口で考えれば、他の観光地とは違う場所となり得るポテンシャルがある。	・北杜市が求めているのが農業と観光	・北杜市が求めているのが農業と観光					
・農業者は平均年齢が70歳を超えている。富農団体は国の補助金などをうけてやっているが、国の政策が変わると厳しい面もある。土地を無料で貸してやっている人もいる。	・富農団体は国の補助金などをうけてやっているが、国の政策が変わると厳しい						
・体験型農業・観光に目を向けていかないと廃れる一方なので、そのためには高速とICが役立つと考えている。	・体験型農業・観光に目を向けていかないと廃れる一方			・高速とICが役立つ			
・誘致を始めたころは道路があれば良いと思っていたが、今は道路があるだけではダメで、活性化策を自分たちで考えて、企業の手も借りながらやっていかないと。そういった夢を描くためにもICが重要、活用できると考えている。	・道路があるだけではダメで、活性化策を自分たちで考えて、企業の手も借りながらやっていかないと。			・夢を描くためにもICが重要			
・防災とか医療だけに利用されるだけの道路では無く、子供たちがその高速を使って潤っていかないと意味が無い。	・防災とか医療だけに利用されるだけの道路では無く、子供たちがその高速を使って潤っていかないと意味が無い						
・リニアはトンネルばかりだけど、高速を降りた後に、すばらしい景観も見てもらいたい。	・高速を降りた後に、すばらしい景観も見てもらいたい。			・すばらしい景観			
・来る人は観光目的でやってくるが、こちらは(体験)農業が観光であると思っている。(例えば、体験型の観光としてワインづくり(ブドウの収穫を体験し、収穫したぶどうでつくったワインができれば屋敷などもある。))	・農業が観光である	・農業が観光である					
・高速・ICを整備しても、工業団地にはしたくない。	・工業団地にはしたくない						
・この地域は、昔から、地震があっても揺れにくい場所であり、あまり揺れないとも言われている。				・昔から、地震があっても揺れにくい場所			
・もし工業団地が来るとしても、研究所やデータバックアップセンター等、環境に優しい企業に来てもらいたい。	・工業団地が来るとしても、環境に優しい企業に来てもらいたい						
・中部横断道の実現が見えてきて、ようやく夢が描ける時が来た、という実感がある。							・ようやく夢が描ける時が来た、という実感がある
・地元説明会の際に、日本海・太平洋がみたいというスローガンに対して、中央道を使えば行けると言う意見もあったが、選択肢が2つあることが重要であり、そのうち中部横断を選択した際に北杜市に立ち寄ってもらえる観光地を目指すのが我々の夢もあった。	・中部横断を選択した際に北杜市に立ち寄ってもらえる観光地を目指す			・選択肢が2つあることが重要			
・移住してくる人たちの中で、日本海側(新潟)や関西の人たちが増加傾向にある。一新潟の人は太陽を求めて、京都の人は高い山(山岳景観)を求めてやってくる。一阪神大震災を受けて、安全な場所だということで移住してきた人もいる。				・安全な場所だということ			・新潟の人は太陽を求めて、京都の人は高い山(山岳景観)を求めてやってくる。

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

自022-7

ヒアリング意見	意見の分類							⑥左記項目に属さない事項
	①地域活性化	②観光	③くらし	④環境	⑤その他			
					寄与できる提案等	委員会の進め方	意見の反映方法	
・高根は河川がほとんどなく、水害はない。このように、災害が少ないというの1つの売りである。			・災害が少ないというの1つの売り					
・我々はせいぜい高速道路を通すところまで尽力する。その後、どのように発展させていくかは、若い人たちに引き継いでいきたい。								・我々はせいぜい高速道路を通すところまで尽力する。 ・若い人たちに引き継いでいきたい。
・一部の人は現状(ここ10年)のことしか考えていないが、我々は将来的な地域活性化も考えてやっている。	・将来的な地域活性化も考えてやっている							
・例えば、農業地(生産地)の中に、家(別荘)を作った様なもの。例えば養鶏場が発展し、飼育個体が増加してうるさいと言った苦情を寄せられることもあるが、それはおかしいでしょと思っている。あなたたちがその中に入ってきたのだから。				・農業地(生産地)の中に、家(別荘)を作った様なもの				
・圃場の堆肥を造るためにあった森林を伐採して別荘が建てられており、地元は別荘地としての意識はない。				・圃場の堆肥を造るためにあった森林を伐採して別荘が建てられている				
・もともと別荘地としてできているわけではなく営農地であることを理解して欲しい。	・別荘地ではなく営農地であることを理解して欲しい							
・(高根など)南部にはどちらかと言えばICよりもSA、PAがほしい。あるいはスマートICといった形式。逆に清里にはICの方が良い。	・南部にはICよりもSA、PAがほしい。あるいはスマートICといった形式。			・逆に清里にはICの方が良い。				
・そのSAには一部でいいから地元の農作物などが販売できると良い。	・SAには一部でいいから地元の農作物などが販売できると良い。							
・北杜市は広くて観光地が分散してしまっている。その中でも、山岳景観として山々が全部見えるのは高根・清里でもある。	・北杜市は広くて観光地が分散してしまっている。			・山岳景観として山々が全部見えるのは高根・清里				
・ここから見える風景は地元には当たり前の景観であるが、それを売り物にしていくしかないと思っている。	・風景は地元には当たり前の景観であるが、それを売り物にしていくしかない							
・少しでも早く進めてほしい。								・少しでも早く進めてほしい
・騒音が心配				・騒音が心配				
・光害が心配				・光害が心配				
・高架橋といったイメージがあるが、V字型で下に掘ってもらって地上の下にして、景観阻害が生じないように、眺望が最低限確保できるような構造が良い。				・眺望が最低限確保できるような構造が良い				
・鳥獣被害(シカ・イノシシ・サル)が増えているので、高速道路によって(生活の場と自然の場を)分断することができないか。				・高速道路によって(生活の場と自然の場を)分断することができないか				
・旧清里有料道路が通過している場所(清泉寮周辺)とは違い、この辺は鳥獣が出てきたら(農作物に影響が出て)困る場所である。	・この辺は鳥獣が出てきたら(農作物に影響が出て)困る場所							
・当方が力点を置いているのは、自然環境に対する問題や、環境教育を大きな柱としている。				・当方が力点を置いているのは、自然環境に対する問題や、環境教育を大きな柱としている。				
・中部横断道に関しては、当初当方の敷地近傍を通過する計画でもあったので、自然環境に対してどういった影響があるかについて内部で検討した。				・自然環境に対してどういった影響があるか				
・今のルート案でも自然環境への配慮は必要だが、現状のB案であるならば、当方の敷地から離れている少なくとも我々の環境は守られると考えている				・自然環境への配慮は必要				
・工事着手から完成後の動植物に対する影響がどういふふうに出てくるか、対策はどう考えていくか、が重要				・動植物に対する影響がどういふふうに出てくるか、対策はどう考えていくか、が重要				
・完成した中部横断道が、周辺の風景の中で景観としてどのように見えるか、というところに關心がある				・周辺の風景の中で景観としてどのように見えるか				
・道路建設予定地住民の生活環境や、周辺で生活している方への対策も必要である				・道路建設予定地住民の生活環境や、周辺で生活している方への対策も必要				
・当方に対しては直接的な影響はほとんど無いだろう、と考えている	・当方には直接的な影響はほとんど無いだろう			・当方には直接的な影響はほとんど無いだろう				

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

自022-8

ヒアリング意見	意見の分類						
	①地域活性化	②観光	③くらし	④環境	⑤その他		⑥左記項目に属さない事項
					寄与できる提案等	委員会の進め方	
・清里有料の際にも環境配慮に関して色々と提案し、実現してもらった				・環境配慮に関して色々と提案	・環境配慮に関して色々と提案		
・当方に来られる方、清里に住んでいる方は特に景観を重要視している。協力できることは協力するが、社会的に問題があることについてはきちんと検討していただきたい。	・協力できることは協力する	・協力できることは協力する	・協力できることは協力する	・清里に住んでいる方は特に景観を重要視 ・協力できることは協力する ・社会的に問題があることはきちんと検討	・協力できることは協力する		
・特にヤマメ(希少動物/天然記念物)に代表されるハケ岳周辺の動植物の保全が最重要課題である。建設予定地の周辺は、広範囲に対策を実施してほしい。				・清里に住んでいる方は特に景観を重要視 ・協力できることは協力する ・社会的に問題があることはきちんと検討 ・ハケ岳周辺の動植物の保全が最重要課題			
・中部横断道ができることで当方へのアクセスは良くなるだろう、という期待がある。		・中部横断道ができることで当方へのアクセスは良くなるだろう、という期待がある					
・大半は車で来られるので、利便性は善まるだろう ・どこにICができるか、が関心事項である		・利便性は善まる ・どこにICができるか、が関心事項					
・できるだけ早く作ってもらえると嬉しい							・できるだけ早く作ってもらえると嬉しい
・アクセスについては、高根が清里かなら、どちらかといえば清里ICが良い。観光客のことを考えるなら、清里駅に近い方が良いのではないか。		・アクセスについては、清里ICが良い。観光客を考えるなら、清里駅に近い方が良い					
・清里にICができた場合、ICから当方までのアクセス道路を良いものにしてほしい。特に当方に来られる場合はバスが多いので。現状、曲がり角が多い。場所によっては大型が対向できない		・ICから当方までのアクセス道路を良いものにしてほしい	・現状、曲がり角が多い。場所によっては大型が対向できない				
・冬の対策をどうするか、冬の装備が無い車が多く、IC降りた後のアクセスで上がれない車がでる可能性があるの、そういった対策も考えてほしい。			・冬の装備が無い車が多く、IC降りた後のアクセスで上がれない車がでる可能性がある				
・旧清里有料道路を高架からトンネルに変更した話があったが、中部横断道については、見えないように、目立たないような、周辺に調和したような構造が良い					・見えないように、目立たないような(配慮) ・周辺に調和したような構造が良い		
・SA等ができて、県などから要請があるならば、物産等を出品することも考えられる		・SA等ができれば、物産等を出品することも考えられる					
・当方の紹介も兼ねた多目的なスペースを造るということであれば、十分に検討の余地がある					・当方の紹介も兼ねた多目的なスペースを造るということであれば、十分に検討の余地がある		
・団体の研修も多いので、ICができれば便利になる ・ゆくゆくは路線バスも走るかもしれない				・ICができれば便利になる ・ゆくゆくは路線バスも走るかもしれない			
・新宿からの直行バスもある				・新宿からの直行バスもある			
・ここから見た富士はずばらしい。富士山を視対象とする景観という意味では、日本でも有効で、他に無い場所だと考えられる。つまり、保全の必要性が高いとも言える。					・富士山を視対象とする景観という意味では、日本でも有効で、他に無い場所だと考えられる。つまり、保全の必要性が高い		
・清里駅前周辺地区は、かつて賑やかだった時代から比べると寂れてしまった							
・当方も地域活性化の一つの核になるべきと感じている		・当方も地域活性化の一つの核になるべき					
・地域活性化を呼びかけても答えてくれる組織が無い。みんなで考えていきたい。その中でも、当方・丘の公園・萌木の村の3つの組織が中心となるべきであろう。		・地域活性化を呼びかけても答えてくれる組織が無い。 ・当方・丘の公園・萌木の村の3組織が中心となるべき					

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

自022-9

ヒアリング意見	意見の分類					⑥左記項目に属さない事項	
	①地域活性化	②観光	③暮らし	④環境	⑤その他		
					寄与できる提案等	委員会の進め方	意見の反映方法
・清里は、かつては地域ブランドを目指した。ブーム時代にブランド化に失敗した状態が、現在の状況なのではないか。これからは、地域ブランドとしての清里・八ヶ岳南麓を確立する必要がある。	・地域ブランドとしての清里 ・八ヶ岳南麓を確立する必要						
・ポールラッシュ祭がある(10/19-20)。駐車場はいっぱいでは滞滞になる。例年5万人ほど来る。							
・地域もなにかやりたい。という気持ちはあるが、リーダー的に引っ張っていく人がいない。	・リーダー的に引っ張っていく人がいない						
・地域の原動力になる若い人の人口が少ない	・地域の原動力になる若い人の人口が少ない						
・(IOからのアクセス道路等の整備などの)交通条件を良くする、ということは地域活性化の面からも必要	・交通条件を良くする、ということは地域活性化の面からも必要						
・運転者の目線で見ると、運転してわくわくする道路が良い。	・運転してわくわくする道路が良い。	・運転してわくわくする道路が良い。					
・通ってみたい・走ってみたい道路、降りてみたいIOといった工夫・仕掛けをしてほしい(SAPA等を含む道路からの景観、IO周辺での集客施設との連携など)	・IO周辺での集客施設との連携	・通ってみたい・走ってみたい道路、降りてみたいIOといった工夫・仕掛けをしてほしい	・通ってみたい・走ってみたい道路、降りてみたいIO	・SAPA等を含む道路からの景観			
・例えば海ほたるのように、全国で唯一の* *といったものがあると呼び込みになる		・全国で唯一の* *といったものがあると呼び込みになる					
・高速道路整備が地域活性化の起爆剤になると良いと期待している	・高速道路整備が地域活性化の起爆剤になると良い						
・高速道路整備については、非常に関心が高い。							・高速道路整備については、非常に関心が高い。
・高速道路整備については、建設業ばかりではなく、農業支援や里山保全などの面もふくめて、地域の声をもっと真摯に受け止めて、将来に繋がる地域振興を図るべきである。	・農業支援や里山保全などの面もふくめて、地域の声をもっと真摯に受け止めて、将来に繋がる地域振興を図るべき						
・防災パンフレットをつくるなど、地域と建設業の在り方の整合性をはかっている。			・防災パンフレットをつくるなど、地域と建設業の在り方の整合性をはかっている。				
・長坂市民として、アクセス道路の関係とかに対する意見もありますが、今の計画の段階として、一市民としての意見としては、長坂IOは当初は無(昭和60年ごろ新たに作ったIO。地域と一緒に長坂IOを作ったことによって、ショッピングセンターができた。そのおかげで商店街が駄目になって、やる気がある人がスーパーに入ってやっている。町の中は疲弊している。長坂IOができたので地域が何とかやれているので、高速道路のIOは必要である。また、私の会社の裏には八ヶ岳がきれいに見えるが、土手、防音壁などで八ヶ岳の景観をこわさないように配慮してほしい。地域振興の面では、長坂は良い例である。佐久方面の人はR144を使いながら今では長坂にも来ている。双葉、昭にもショッピングセンターができてそちらにも行っている。高速道路は絶対に通してもらいたい。一部の住民のほとんどは新住民がまどまっているのが現状。地域に即して、地域のやるべきことを守っていかなくてはならない。ただ単に反対、環境破壊だという批判はおかしい。地域に即したやり方もあるし、是非計画は進めてもらいたい。農業云々についてはわからないし、農家が自分の家にかかるかどうかという話だが、私どもには触れられない。	・地域と一緒に長坂IOを作ったことによって、ショッピングセンターができた。そのおかげで商店街が駄目になって、やる気がある人がスーパーに入ってやっている。町の中は疲弊している。 ・長坂IOができたので地域が何とかやれているので、高速道路のIOは(地域振興のために)必要である		・土手、防音壁などで八ヶ岳の景観をこわさないように配慮			・高速道路は絶対に通してもらいたい ・ただ単に反対、環境破壊だという批判はおかしい。 ・是非計画は進めてもらいたい	
・大きな話としては地域の活性化につながる、防災につながる。例えば、ドクターヘリの話。この前、管内で事故があったが山梨・長野のドクターヘリが埋まっており、静岡からドクターヘリが飛んできたが結局死亡してしまった。防災面でも80km/hとかで走れる道路は必要。疲弊した清里駅が、軽井沢とは言えないが、第二の清里づくりができると思う。	・疲弊した清里駅が、軽井沢とは言えないが、第二の清里づくりができる		・防災面でも80km/hとかで走れる道路は必要				
・今の農業の在り方を考えたうえで、作物はなにをどう生産することで消費者に喜ばれるか考えなくては行けない。ふどうもイチゴも北へ北へ作付適地が移動しており、大変な時代になる。北杜市も韮崎市も地域の特性に応じた農産物を作らなければならない。	・北杜市も韮崎市も地域の特性に応じた農産物を作らなければならない						

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

自022-10

ヒアリング意見	意見の分類						
	①地域活性化	②観光	③くらし	④環境	⑤その他		⑥左記項目に属さない事項
					寄与できる提案等	委員会の進め方	意見の反映方法
・3.11の時、自衛隊がR141を通過して、東北にいった姿を見ると、防災面でも早く作ってもらえれば良いと考える。			・3.11の時、自衛隊がR141を通過して、東北にいった姿を見ると、防災面でも早く作ってもらえれば良い。				
・仕事とか観光とかで、近郊を通った時に、日光なども新しい道路ができて、白川郷も高山から道路ができていて、近くに感じ、昔々の住んでいるところも軽井沢があるが、山梨からの客は少ない。アクセス道路が良くないし、高速道路ができる外に出て色々なものを見れば、若い人はどこでも行けるし、いろいろなことを見聞きできる。			・高速道路ができる外に出て色々なものを見れば、若い人はどこでも行けるし、いろいろなことを見聞きできる。				
ただ、アクセス道路での交差点改良では、地元がスペースを提供しているのに、完成して供用開始というときにはポールで制限されていて、警察は安全のためかとおもうが不便である。観光バスは交差点を狭くしているのだから、かえって危ない状況を作っている地元も不便に感じている。県の土木部・農務部も警察の指導でやっているのだろうか。緊急時利用なら別だが使いつらい。そういうところから警察と協議してもらって、アクセス道路とか交差点改良を計画して欲しい。住民が使いやすい、景観ももちろんですが、やって欲しいです。		・観光バスは交差点を狭くしているのだから、かえって危ない状況を作っている地元も不便に感じている。県の土木部・農務部も警察の指導でやっているのだろうか。緊急時利用なら別だが使いつらい。そういうところから警察と協議してもらって、アクセス道路とか交差点改良を計画して欲しい。住民が使いやすい、景観ももちろんですが、やって欲しいです。	・アクセス道路での交差点改良では、地元がスペースを提供しているのに、完成して供用開始というときにはポールで制限されていて、警察は安全のためかとおもうが不便である。(※) ・アクセス道路とか交差点改良を計画して欲しい。(※)	・景観ももちろんですが、やって欲しい。			
・地域には、様々な公共の温泉施設などもあり、これらを利用して人々を集めることを考えては、又、双葉の駅の駅や百葉泉でもバスツアーの観光客相手の商売をしている。北杜市や北杜市でもここでしか無いモノ、ここでしか食べられないモノをつくればよい。		・北杜市や北杜市でもここでしか無いモノ、ここでしか食べられないモノをつくればよい。	・公共の温泉施設などを活用して人々を集めることを考えては				
・農業は、うちのほうでもよそから来て耕作している若い人がいる。その人たちが道路があれば、自分たちのアイデアを生かせる。意外不便なので高速道路ができれば、それを利用していろいろな、農業や流通などの話になるが、便利になり、よそから来た人達も新住民とは違って、道路を切望しているはず。		・農業は、若い人たちが道路があれば、自分たちのアイデアを生かせる。意外不便なので高速道路ができれば、それを利用していろいろな、農業や流通などの話になるが、便利になり、よそから来た人達も新住民とは違って、道路を切望しているはず。					・道路を切望しているはず。
・考えてみればこれまで山梨県から軽井沢は容易に行けなかった。八ヶ岳横断道の四季もすばらしさがある。これも中部横断道を使ったアクセス道路の利便性をうまく使えば、山梨県の良さがいっぱい見えてくる。地域の人達がモノを売ったりするだけでなくお金をかけなくても満足させることができる付加価値を地域でつくれることができればよい。また小海線などに蒸気機関車を定期的に走らせるとか、雪かき両輪など、子供達が生物の成長や生命の尊さを感じたり、生涯味わうことができないような経験ができる物づくりや姿の構築も重要と考える。		・付加価値を地域でつくれることができればよい。 ・中部横断道を使ったアクセス道路の利便性をうまく使えば、山梨県の良さがいっぱい見えてくる。	・生涯味わうことができないような経験ができる物づくりや姿の構築も重要	・八ヶ岳横断道の四季もすばらしさがある			
・北杜市の農業や産業振興・若い人たちの雇用を考えると、地元の高速道路やアクセス道路や観光バスが回れる交差点、道路ネットワークが重要。長坂ICの例を考えると、高速道路は必要要素であると考えている。防災面や救急医療面では、ドクターヘリの台数も限られているので、高速道路のネットワークも役に立つし、自衛隊の災害時の移動ルート等にも活用できる。中部横断道の未開道の区間も、軽井沢などの長野県との行き来のなかで、地域の外出行動にも期待があるので、非常に重要なルートである。中部横断道の整備により、地域との整合性、地域の活性化に対して期待する。		・農業や産業振興・雇用を考えると、地元の高速道路やアクセス道路や観光バスが回れる交差点、道路ネットワークが重要。長坂ICの例を考えると、高速道路は必要要素。地域との整合性、地域の活性化に対して期待する。	・防災面や救急医療面では、ドクターヘリの台数も限られている。 ・高速道路のネットワークも役に立つし、自衛隊の災害時の移動ルート等にも活用できる。 ・中部横断道の未開道の区間も、軽井沢などの長野県との行き来のなかで、地域の外出行動にも期待があるので、非常に重要なルートである。				
・清らかな豊富な水資源で栽培されたお米は、他の地域の物に勝るとも劣らぬ美味しさで多くの人々を喜ばせている。販売所がもっと分かるような工夫が欲しい。		・清らかな豊富な水資源で栽培されたお米は、他の地域の物に勝るとも劣らぬ美味しさ。販売所がもっと分かるような工夫が欲しい。					
・また高野野菜は八ヶ岳と言われるように、これまた美味しく食している。漬物も長野だけでなく、八ヶ岳の漬物として販売したらどうか。多くの人たちが喜ぶ八ヶ岳の漬物が出るとういすね。		・多くの人たちが喜ぶ八ヶ岳の漬物が出るとういすね。					
・生の野菜を豊富に店頭に並べてほしい。道で品物を販売しているのも風情があってよいが店に並べて販売することも大切だと思います。		・生の野菜を豊富に店頭に並べてほしい。					

(※) 地域の安全・安心に関わる意見と捉え「くらし」に分類しました。

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

自022-11

ヒアリング意見	意見の分類						⑧左記項目に属さない事項	
	①地域活性化	②観光	③くらし	④環境	⑤その他	⑥その他		
・滑らかな豊富な水資源。特に名水百選に選定された湧水等の地下資源は、水の汚染が甚大な問題になっている今貴重である。大切に管理するとともに、名水百選の湧水として販売したのだろうか。更に90か所隠れた湧水があるそうだが確認することが観光地としてもよいと思われる。	・名水百選の湧水として販売したのだろうか	・隠れた湧水を確認することが観光地としてもよい		・滑らかな豊富な水資源。特に名水百選に選定された湧水等の地下資源は、今貴重である	寄与できる提案等	委員会の進め方	意見の反映方法	
・中部横断道開発に当たっては、豊富な緑をなくすことのないように、車の通行等を配慮しながら決定するようであってほしい。排気ガスの害はそこだけで多く多くの市民の生活にまで波及すると考えられるから。住宅街を通る所もあるようだが、地域の発展と、市民が健康で豊かな生活が営まれるよう配慮することが望ましい。			・地域の発展と、市民が健康で豊かな生活が営まれるよう配慮することが望ましい	・豊富な緑をなくすことのないように、車の通行等を配慮しながら決定するようであってほしい				
・中部横断道は、長野方面の方が来るにはいい道路であり、早く開通してほしい。		・長野方面の方が来るにはいい道路						
・6月頃にはハケ岳の長期滞在客が当地に桃狩りに来てくれる。中部横断道ができればこちらに来るのに便利になる。		・ハケ岳の長期滞在客が当地に桃狩りに来てくれる。中部横断道ができれば来るのに便利						
・今は名古屋からの顧客が多いが、中部横断道ができて3時間程度で来られる範囲が広がれば集客も増えると思う。		・3時間程度で来られる範囲が広がれば集客も増える						
・高速のアクセスがよくなることで当地の果物狩りと、峡北の他の観光資源を連携できればと思う。		・果物狩りと、峡北の他の観光資源を連携できればよい						
・中部横断道の南側の道路が開通すると、静岡から当地へのお客さんが見込める。		・中部横断道の南側の道路が開通すると、静岡から当地へのお客さんが見込める。						
・軽井沢と清里からのお客に来てほしい。		・軽井沢と清里からのお客に来てほしい						
・中部横断道ができれば山梨の人が軽井沢のアウトレットやゴルフに行くのが楽になる。		・軽井沢のアウトレットやゴルフに行くのが楽になる						
・往来が容易になることによって、地域振興、観光需要が生まれればよい	・往来が容易になることにより地域振興が生まれればよい	・往来が容易になることにより観光需要が生まれればよい						
・山梨県は災害に強いが、災害が起きたときに中部横断道は役立つと思う。			・災害が起きたときに中部横断道は役立つ					
・距離的には新潟の人の集客は難しいが、道路ができれば長野の人は来やすくなるかもしれない。		・道路ができれば長野の人は来やすくなる						
・最近ではナビがあるので、細街路を通過するスキー客が多い。中部横断道ができればスキー客は使うかもしれない。		・スキー客は使うかもしれない						
・道路ができれば当地に果物を食べに来てほしい。		・果物を食べに来てほしい。						
・群馬は圏央道があるから近い。中部横断道ができればもっと近くなるのではないか。			・中部横断道ができればもっと近くなる					
・桃の花の時期やダイヤモンド富士などの写真を撮りに当地に来る人も多い。ハケ岳、富士山も見え、甲斐駒ヶ岳も綺麗。走りながらでは危ないが、SAなどを強化すればよい。景色が良いので展望台やハイウェイオアシスなどを作ってはどうか。		・桃の花の時期やダイヤモンド富士などの写真を撮りに当地に来る人も多い ・走りながらでは危ないが、SAなどを強化すればよい。景色が良いので展望台やハイウェイオアシスなどを作ってはどうか。		・ハケ岳、富士山も見え、甲斐駒ヶ岳も綺麗。				
・自分が運転出来るうちに中部横断道ができて欲しい。								・自分が運転出来るうちに中部横断道ができて欲しい。
・中部横断道ができれば、山梨の人も、長野の人も海のものを食べに行きたいと思うのではないか。		・山梨の人も、長野の人も海のものを食べに行きたいと思うのではないか						
・道路勾配で加速が弱まって自然渋滞が起きってしまうことがある。走りやすい道路を作ってほしい。			・走りやすい道路を作ってほしい					
・清里駅に近いところへのインターの設置		・清里駅に近いところへのインターの設置	・清里駅に近いところへのインターの設置					

「北杜市」からの文書（平成26年6月9日）

自022-12

ヒアリング意見	意見の分類					
	①地域活性化	②観光	③くらし	④環境	⑤その他 寄与できる提案等 委員会の進め方	⑥左記項目に属さない事項
・ハケ岳高原リゾートバス、ピクニックバス、みずがき田園バスの見直し、定期観光バス路線新設（路線・時刻改正）		・ハケ岳高原リゾートバス、ピクニックバス、みずがき田園バスの見直し、定期観光バス路線新設（路線・時刻改正）				
・市民バスの充実、路線、時刻改正			・市民バスの充実、路線・時刻改正			
・地元のバス事業者とヒアリング						・地元のバス事業者とヒアリング
・代替地を取得したいという希望が出てきた場合には対応してもらいたい。	・代替地を取得したいという希望が出てきた場合には対応		・代替地を取得したいという希望が出てきた場合には対応			
・この際、農地規模を縮小したい、という方も多いかもしれない。	・農地規模を縮小したい、という方も多い		・農地規模を縮小したい、という方も多い			
・所有者がそのままやっている場合と、借りてやられている方がいる。扱いや思いが異なる可能性がある。	・所有者がそのままやっている場合と、借りてやられている方がいる。扱いや思いが異なる可能性がある		・所有者がそのままやっている場合と、借りてやられている方がいる。扱いや思いが異なる可能性がある			
・農地の基盤整備をしたところはできるだけ避けていただきたい。	・農地の基盤整備をしたところはできるだけ避けていただきたい		・農地の基盤整備をしたところはできるだけ避けていただきたい（※）			
・地元では、（道路事業に）土地を提供したいという人が多いのではないと思う。協力したいという方が多いだろう。			・地元では、（道路事業に）土地を提供したいという人が多いのではないと思う。協力したいという方が多いだろう（※）			
・北巨摩はこれから農業をやろうという人に人気がある。果物より野菜に人気がある。	・北巨摩はこれから農業をやろうという人に人気がある					
・借りている方に対しても配慮が必要になる。所有者とは意識が違うかもしれない。	・借りている方に対しても配慮が必要		・借りている方に対しても配慮が必要（※）			
・流通の面で効果がある。	・流通の面で効果がある。					
・北部区間（長坂以北）についても早く開通してほしい。南部区間（双葉以南）と繋がらないと整備効果が現れないだろうと思う。	・南部区間（双葉以南）と繋がらないと整備効果が現れないだろうと思う	・南部区間（双葉以南）と繋がらないと整備効果が現れないだろうと思う	・南部区間（双葉以南）と繋がらないと整備効果が現れないだろうと思う			
・山梨県は観光という側面が強いことから、早期完成を目指してほしい。		・山梨県は観光という側面が強い				
・地域活性化や産業振興という観点で六次産業化を推進しているという立場からすると、北杜市はそのポテンシャルを持っているため、中部横断道に期待している。	・六次産業化を推進しているという立場からすると、北杜市はそのポテンシャルを持っている					
・北杜市では、高根でクライナガルテンなどの観光農業というのに取り組んでいる。当方ではさらに付加価値を高めた六次産業を推進している。	・付加価値を高めた六次産業を推進している	・観光農業というのに取り組んでいる。				
・農業・商工活性化という意味で、北杜市の資源を活用するためにも早く進めてもらいたい。	・農業・商工活性化という意味で、北杜市の資源を活用するため					
・山梨県は、従前から関西方面からの観光に弱い。リニアの効果も期待される。二次交通としてリニアに近い道路網が完成すると北杜市も近くなる。		・関西方面からの観光に弱い	・二次交通としてリニアに近い道路網が完成すると北杜市も近くなる			
・富士山で観光客が増えたが経済効果が小さい。国外からの観光客はバスで富士山の五合目までは行くが、その後は別のところに行ってしまう。このことから、滞在型の観光を発展させる必要がある。そのポテンシャルが北杜市にはある。		・滞在型の観光を発展させる必要がある。そのポテンシャルが北杜市にはある				
・高根クライナガルテンでは、小中学生にも農業体験などをさせている。また、大泉ではそば打ち体験も始めており、これもじわじわと伸びてきている。		・高根クライナガルテンでは、小中学生にも農業体験	・大泉ではそば打ち体験			
・自然環境の面からは、景観を開発すれば良いというものでもない。農業の六次産業化は、自然を大事にしなが活用できる取り組みもある。	・農業の六次産業化は、自然を大事にしなが活用できる取り組み			・自然環境の面からは、景観を開発すれば良いというものでもない。		

（※）地域の方のくらしに結びつく意見と捉えてくらしに分類しました。

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

自022-13

ヒアリング意見	意見の分類						
	①地域活性化	②観光	③暮らし	④環境	⑤その他		⑥左記項目に属さない事項
					寄与できる要素等	委員会の進め方	意見の反映方法
・小淵沢には介護施設もあるが、高齢化社会の中では景観も含めた「介護」もこれからの一つの産業になり得る。	・景観も含めた「介護」もこれからの一つの産業						
・新しい産業の育成として、医療やバイオの研究開発などが考えられる。そういったものを充実させたり誘致したりといったことも期待している。北杜市はいち早く取り組むべきではないか。	・新しい産業の育成として、医療やバイオの研究開発などが考えられる						
・製薬会社(工場・研究施設)も移ってきたが、それは空気も良いし、水も良いからであろう。	・製薬会社も移ってきたが、それは空気も良いし、水も良いからであろう				・空気も良いし、水も良い		
・小淵沢にも県の薬草園があるなど、北杜市にはその素地がある。	・小淵沢にも県の薬草園があるなど、北杜市にはその素地がある。						
・医療などの産業はこれから期待でき、県内の中小企業への波及効果が期待される。	・医療などの産業はこれから期待でき、県内の中小企業への波及効果が期待						
・清水市・静岡市は静岡県と一緒に熱心に清水港や静岡空港などのPRに取り組んでいる。	・清水市・静岡市は静岡県と一緒に熱心に清水港や静岡空港などのPRに取り組んでいる。						
・横浜港ではなく静岡港から運んでくると、コスト・時間が全然違う(安い・早い)。	・静岡港から運んでくると、コスト・時間が全然違う(安い・早い)						
・さらに日本海側との取引も増えてくたろう。中部横断道によって佐久は発展したようだ	・日本海側との取引も増えてくたろう。中部横断道によって佐久は発展したようだ						
・ワインも温暖化でぶどうの産地が移ってきた。これからは富士北麓か八ヶ岳か、とも言われている。地場産業とタイアップするの面白い。	・ワインも温暖化でこれからは富士北麓か八ヶ岳かとも言われている。 ・地場産業とタイアップするの面白い。						
・アクセス箇所について、例えば清里駅と離れすぎるとどうかと思う。活性化を考えるならば、ある程度アクセスが容易なところが望ましい。山の中にだけ置いても意味が無くなってしまふ。	・活性化を考えるならば、ある程度アクセスが容易なところが望ましい。						
・リニアからの二次交通という観点では、長野(諏訪方面)からの観光客が増えるのではないか。							
・山梨・伊那・諏訪を核にしたものづくり、諏訪の精密機械が有名だが、彼らも中部横断道ができる清水港に行くと言っていた。この観点からは山梨に工場を造ってもらえるかもしれない。	・諏訪の精密機械が有名だが、彼らも中部横断道ができる清水港に行くと言っていた。この観点からは山梨に工場を造ってもらえるかもしれない						
・山梨県はリニア開通が決定し、今後経済的に首都圏と近くなるのが考えられるため、大きな変化を遂げると期待している。現在は企業の県外流出が問題になっているが、活性化に向けてリニア開通と中部横断道の全線開通は悲願である。	・企業の県外流出が悲願になっているが、活性化に向けてリニア開通と中部横断道の全線開通は悲願						
・南アルプスIC周辺に六次化拠点施設を設けているが、中部横断道の全線開通(北部区間の開通)がないと集客面等で十分な効果が得られない。	・南アルプスIC周辺に六次化拠点施設を設けているが、中部横断道の全線開通(北部区間の開通)がないと集客面等で十分な効果が得られない。						

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

自022-14

ヒアリング意見	意見の分類						
	①地域活性化	②観光	③くらし	④環境	⑤その他	⑥左記項目に属さない事項	
					寄与できる提案等	委員会の進め方	意見の反映方法
・観光をベースとした地域振興においては、もう少し広域的な視点で対策が立てられないものか。例えば、地域を代表するところ(身延のしだれ桜やフルーツ狩り、八ヶ岳)にライブカメラを何か所か設置し、近隣の観光地に誘導するなど滞留時間を長くするなどの仕組みがほしい。近隣と連携するためのツールとして、絵とポスターだけでなく、情報発信機器(SAや道の駅に設置するライブカメラ)が必要である。		・地域を代表するところにライブカメラを設置し、近隣の観光地に誘導するなど滞留時間を長くするなどの仕組みがほしい。 ・近隣と連携するためのツールとして、絵とポスターだけでなく、情報発信機器(SAや道の駅に設置するライブカメラ)が必要である。					
・地域を活性化(地域力を向上)するために地域にお金を落とす仕組みが必要。そのためには中部横断道全線の連携(行政間、地域間の連携)と地道な努力(人づくり等)が必要。	・地域を活性化(地域力を向上)するためには中部横断道全線の連携(行政間、地域間の連携)と地道な努力(人づくり等)が必要。						
・南アルプス、北杜市は水が大きなビジネスになると考える。白州にはすでに各種企業がきており、水の流通などの水ビジネスが今後発展すると考える。	・南アルプス、北杜市は水が大きなビジネスになると考える						
・新潟まで開通すると、流通や倉庫業などが発展する可能性は高く、物流拠点ができる可能性が高い。	・新潟まで開通すると、流通や倉庫業などが発展する可能性は高く、物流拠点が出来る可能性が高い						
・平成29年に中部横断道が南に延伸し、東名とつながると発展する可能性は高い。	・中部横断道が南に延伸し、東名とつながると発展する可能性は高い						
・通過されると困る。ICで降りてもらうためには、まちの魅力を造らないといけない。行政にも頑張ってもらいたい。	・ICで降りてもらうためには、まちの魅力を造らないといけない						
・壱岐は中央道区間に位置するが、長野・静岡の観光客が通ることになると思う。	・長野・静岡の観光客が通ることになると思う						
・研修でまち起こしの話聞いたが、道の駅と連携してやっていくと面白いかもしれない。	・研修でまち起こしの話聞いたが、道の駅と連携してやっていくと面白い						
・穂坂地区ではぶどう・りんごなどの果樹の品質が高い。ワインの原材料としても評価が高く、農商で連携していかなくてはならない。	・穂坂地区ではぶどう・りんごなどの果樹の品質が高い。農商で連携していかなくてはならない						
・企業誘致の観点からは、北杜市は長野・静岡の間でちょうど良い場所だと思う。	・企業誘致の観点からは、北杜市は長野・静岡の間でちょうど良い場所						
・北関東方面に中部横断で行けるようになる。都内を抜けなくて良いので時間短縮にもなるだろう。		・北関東方面に中部横断で行けるようになる。都内を抜けなくて良いので時間短縮にもなるだろう					
・現状だとR141が良くないので、長野方面にあまり行かない。高道が整備されれば、佐久方面に行きやすくなる。お互いの交流が増えるだろう。浅間山など群馬方面もかなり近くなる。		・佐久方面に行きやすくなる。お互いの交流が増えるだろう。浅間山など群馬方面もかなり近くなる。					
・静岡への研修で、バスを使ってR52を利用したが車酔いをする人がいた。高速整備が楽しみ。		・静岡への研修で、バスを使ってR52を利用したが車酔いをする人がいた。高速整備が楽しみ。(※1)					
・暫定2車線整備はやめてほしい。使い勝手を考えれば4車線で整備してもらいたい。		・暫定2車線整備はやめてほしい。使い勝手を考えれば4車線で整備してもらいたい。(※2)					

(※1)利便増進に関する意見と捉え「くらし」に分類しました。(※2)安全・安心に関する意見と捉え「くらし」に分類しました。

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

自022-15

ヒアリング意見	意見の分類							
	①地域活性化	②観光	③くらし	④環境	⑤その他			⑥左記項目に属さない事項
					寄与できる提案等	委員会の進め方	意見の反映方法	
・開通すれば、冬場は静岡や山梨からスキー客の草津方面への利用が増えると想定される。		・冬場は静岡や山梨からスキー客の草津方面への利用が増えると想定						
・広域連携(北杜市など)は必要。北杜市とはちょうど良い距離関係にある。	・広域連携(北杜市など)は必要 ・北杜市とはちょうど良い距離関係		・広域連携(北杜市など)は必要 ・北杜市とはちょうど良い距離関係					
・北杜市とは観光面で一緒にやろう、という話は今後出てくるかもしれない。		・北杜市とは観光面で一緒にやろう、という話は今後出てくるかもしれない						
・例えば、観光バスも静岡・北杜から佐久へ抜けるといったコースの組み方も可能になる。東京、山梨、長野の周遊コースもできる。また、風景を活かした観光面のアイデアもあるだろう。		・観光バスも静岡・北杜から佐久へ抜けるといったコースの組み方も可能。東京、山梨、長野の周遊コースもできる。また、風景を活かした観光面のアイデアもあるだろう。						
・道路幅を広げるなど、大型車の受け入れが可能になるような整備が必要。			・大型車の受け入れが可能になるような整備が必要(※)					
・生鮮食料の調達という意味では、山梨で災害があった場合には長野側の支援が受けやすくなる。逆に長野側だとこちらから助けに行ける。相互に助け合えることは良いこと。高速を使って、救急・災害への対策がとれるようになるだろう。			・生鮮食料の調達という意味では、相互に助け合えることは良いこと。高速を使って、救急・災害への対策がとれるようになるだろう。					
・救急医療で考えるならば、北杜市は静岡方面よりも佐久方面に行った方が早いだろう。			・救急医療で考えるならば、北杜市は静岡方面よりも佐久方面に行った方が早い					
・高速整備で一般道よりも排ガスなどは少なくて済むのではないかと。環境に配慮した道路、ということも言えるのではないかと。				・高速整備で一般道よりも排ガスなどは少なくて済むのではないかと				
・景観に対しては、今の技術を使えばそれほど心配する必要はないと思う。				・景観に対しては、今の技術を使えばそれほど心配する必要はない				
・動物・生態系への影響が生じる可能性があるかもしれないが、配慮しながら進めれば良いと思う。				・動物・生態系への影響が生じる可能性があるかもしれないが、配慮しながら進めれば良いと思う				
・環境を大切にしながら、という視点が大事。ただし、生活面も重要であり、環境保護だけではダメだろうと思う。				・環境を大切にしながら、という視点が大事。ただし、生活面も重要であり、環境保護だけではダメだろうと思う				
・経済のことを考えると、物流が良くなる・商圏が広がる、といった効果が期待できる。		・物流が良くなる・商圏が広がる、といった効果が期待						
・野辺山でレタスを作っているが、現状では静岡からすぐに買いに行けるものが、整備後は山梨から買いに行くことも簡単になる。そういった意味でも高速道路整備の必要性がある。		・野辺山でレタスを作っているが、静岡から買いに行くことも簡単になる。						
・長野側にとっても、活動範囲・行動範囲が広がるといったメリットがある。			・長野側にとっても、活動範囲・行動範囲が広がるといったメリット					
・ものづくりについても、雇用の創出が考えられる。通勤圏も広がる。	・ものづくりについても、雇用の創出が考えられる。通勤圏も広がる		・通勤圏も広がる					
・どうやってここに泊まって(とどまって)もらうか、といった課題が今後増えるだろう。		・どうやってここに泊まって(とどまって)もらうか、といった課題が今後増える						

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

自022-16

ヒアリング意見	意見の分類					
	①地域活性化	②観光	③暮らし	④環境	⑤その他	⑥左記項目に属さない事項
				寄与できる提案等	委員会の進め方	意見の反映方法
・インターチェンジに隣接したサービスエリアを設ける。そして、特産の農産物の販売所、「農の幸・山の幸、川の幸」の生鮮食品から保存のできる加工品までを提供するブースを設ける。このサービスエリアは、一般道からも中部横断道からも利用できるサービスエリアとする。	・インターチェンジに隣接したサービスエリアを設ける。 ・特産の農産物の販売所、「農の幸・山の幸、川の幸」の生鮮食品から保存のできる加工品までを提供するブースを設ける。 ・サービスエリアは、一般道からも中部横断道からも利用できるサービスエリアとする。					
・また、非常時には避難場所として使用できるとともに、災害救助用のヘリポートを併設する。						
・上記のサービスエリア内に市の観光案内もできる総合案内所を設ける。観光ルート・コース内の所要時間、見頃、パンフの配布、市からのお知らせ、市内のイベント案内、緊急時の対応、相談窓口とする。	・サービスエリア内に市の観光案内もできる総合案内所を設ける。 ・観光ルート・コース内の所要時間、見頃、パンフの配布、市からのお知らせ、市内のイベント案内、緊急時の対応、相談窓口とする。					
・宿泊を兼ねた能の体験の提供がよいと考える。		・宿泊を兼ねた能の体験の提供がよいと考える				
・できるだけ早く整備してほしい。整備に合わせて地域の魅力づくりをしていくことも重要	・整備に合わせて地域の魅力づくりをしていくことも重要	・整備に合わせて地域の魅力づくりをしていくことも重要	・整備に合わせて地域の魅力づくりをしていくことも重要			・できるだけ早く整備してほしい
・建物および道路の建設について十分配慮してほしい。	・建物および道路の建設について十分配慮してほしい。	・建物および道路の建設について十分配慮してほしい。	・建物および道路の建設について十分配慮してほしい。	・建物および道路の建設について十分配慮してほしい。		
・世界遺産を目指す山岳景観に道路ができては世界一とは言えない。				・世界遺産を目指す山岳景観に道路ができては世界一とは言えない		
・八ヶ岳の魅力や歴史などを発信するよい機会と考える。		・八ヶ岳の魅力や歴史などを発信するよい機会と考える		・八ヶ岳の魅力や歴史などを発信するよい機会と考える		
・北杜市は生産品の幅が広く、これを活かせる施策を協会でも考えていかななくてはならない。	・北杜市は生産品の幅が広く、これを活かせる施策を協会でも考えていかななくてはならない					
・白州地方は通過しないが白州方面にも延伸してほしい。	・白州地方は通過しないが白州方面にも延伸してほしい					
・景観に十分注意し、看板の高さ、サインの色に配慮してほしい。				・景観に十分注意し、看板の高さ、サインの色に配慮してほしい		
・中部横断道を機に縦の流れができるので、観光・産業の発展に寄与する道路と考える。	・中部横断道を機に縦の流れができるので、観光・産業の発展に寄与する道路と考える	・中部横断道を機に縦の流れができるので、観光・産業の発展に寄与する道路と考える	・中部横断道を機に縦の流れができるので、観光・産業の発展に寄与する道路と考える			
・清里の観光面で期待しているが、環境・景観にやさしく利便性のある道路を目指してほしい。できるだけ地元意見を聞いてほしい。		・清里の観光面で期待している	・利便性のある道路を目指してほしい	・環境・景観にやさしく利便性のある道路を目指してほしい		・できるだけ地元意見を聞いてほしい
・通り抜け道路にならないようにしてほしい		・通り抜け道路にならないようにしてほしい				
・農業振興の施策をどうするか重要。道路整備後に農業従事者がいなくなるということにならないように、この地域で農業できるようにしてほしい。	・農業振興の施策をどうするか重要 ・道路整備後に農業従事者がいなくなるということにならないように ・この地域で農業できるようにしてほしい					
・アクセスポイントを整備し、地元の経済を潤すような道路を整備してほしい。	・アクセスポイントを整備 ・地元の経済を潤すような道路	・アクセスポイントを整備	・アクセスポイントを整備			

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

自022-17

ヒアリング意見	意見の分類						
	①地域活性化	②観光	③くらし	④環境	⑤その他		⑥左記項目に属さない事項
					寄与できる提案書	委員会の進め方	意見の反映方法
パーキングになるか、中部横断道を下りたところでの道の駅整備になるのかわからないが、乗客の拠点となりうる施設は要望したい。		・乗客の拠点となりうる施設は要望したい					
・地元のものが見られ、農産物が買えるといった、地産地消や産業、地域振興に寄与する施設が必要である。	・地産地消や産業、地域振興に寄与する施設が必要	・地産地消や産業、地域振興に寄与する施設が必要					
・農産物の出荷に関しては、峡北・ハヶ岳エリア、川上・野辺山エリアは、関西圏への出荷が多く、首都圏への出荷はほとんどないため、それほど中部横断道に頼らなければならないという状況ではないが、現状で国道を使っている大型車の通行が減るという意味はある。				・現状で国道を使っている大型車の通行が減るという意味はある			
・企業誘致については面積があるわけではないので工場の誘致は難しいが、研究所のようなものであればリゾートオフィスの活用もあると思う。工業団地は他も埋まっていない状況なので難しいと思う。何にせよ中部横断道整備が雇用につながるのであればありがたい	・リゾートオフィスの活用もあると思う			・中部横断道整備が雇用につながるのであればありがたい			
・道路は国に整備してもらっても、人に来ってもらうためには周辺施設の整備が必要。民間だけでは厳しいものがあるので行政(国・県・市)に期待している。		・人に来ってもらうためには周辺施設の整備が必要					
・スマートインターやハイウェイオアシスの形での整備という考えもある。小布施のハイウェイオアシスほど大規模でなくてよいが、小さくてもよいから集客施設がほしい。		・スマートインターやハイウェイオアシスの整備。 -小さくてもよいから集客施設がほしい					
・高速道路を走っている人が楽しいと感じる道路、眺望や景色を活かした道路を作ってほしい。今の中央道がハヶ岳の景観をだめになっているように思えない。イメージの問題だけで反対しているのではないだろうか？		・高速道路を走っている人が楽しいと感じる道路、眺望や景色を活かした道路を作ってほしい					
・景観は当然の話として、如何に降りてもらうか、留まってもらうかの方策を考えなくてはならない。		・如何に降りてもらうか、留まってもらうかの方策を考えなくてはならない					
・いい景色だから降りてみたいと思わせるような「利用者のための景観」への配慮も重要。地域住民のための景観ばかりに配慮してトンネルだらけの道路にしてしまったら、降りたいても思わない。		・いい景色だから降りてみたいと思わせるような「利用者のための景観」への配慮も重要					
・医療や防災面では、現状でもそれほど不便にしているわけではないが、全体的には141号の代替性としてはよいと思う。				・141号の代替性としてはよい			

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-18

No.	内容	対応案
1	<p>中部横断自動車道路活用検討委員会さま 道路の活用検討に携わるみなさま、ご苦勞様です。 私のコメントは「道路建設は決まったものとして、その活用のみを検討する」とされる皆様にはご迷惑かもしれませんが、道路は安全に設計され、安心して利用されてこそ「本来の姿」かと思っておりますのであえて意見をのべてさせていただきます。 道路公団は、特に今回のような国の直轄事業として建設されたばあい、その修理補修も含めて国が責任を負い、道路特定財源という豊かな財源から支出するものと聞いています。 しかし、***が言われるとおり、維持管理や補修に予算が不足していると感じています。 それならなぜ、維持管理や補修に優先的に予算を使わないのですか？ 私はここで高速道路そのものの建設に反対の意見を申し述べることは控えますが、維持管理に責任を持たない新しい道路を優先してつくることには納得できません。 笹子トンネルの事故にしても、誰も責任をとうとうとしない、設計施工したのは中日本高速道路会社で、建設省は「意見を言う立場にない(住民説明会での道路公団甲府道路河川事務所談)」とはなんとという無責任な発言でしょう。設計図を点検し、施工に許認可を与える、あるいは監督責任がある立場ではないですか？ 活用検討委員会の皆様におかれましては、どうぞ、安全な道路を建設し、50年たっても安全に活用できるよう、現在ある道路について責任を問うことから初めていただけたらいかでしょうか？ 安全であるかどうかかわからない道路、事故が起きたら誰が責任をとるのかも定かでない道路をどう活用するのでしょうか？ 以上とりあげていただければ幸いです。 また取り上げていただけない場合はその理由をお知らせください。しかるべきところで公表させていただきます。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道路活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「安全な道路を建設し、50年たっても安全に活用できるよう」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に「維持・管理」に関する文章を追記します。</p>
2	<p>道路河川課 御中 標記について、ご苦勞様です。 中部横断自動車道の建設に大反対!! 「山紫水明」を標榜する北杜市は、 「人と自然と文化が躍動する環境創造都市」を基本理念とします。 東京の都会人は、これに憧れて八ヶ岳南麓での暮らしを楽しんでおります。 ここに中部横断自動車道が建設されたら、豊かで美しい自然が台無しです。 八ヶ岳南麓に豊かで美しい自然が無くなったら、この土地の価値は無くなります。 八ヶ岳南麓の観光、移住の最大のユーザである都会人は、この地から去るでしょう。 最初は物珍しくこの地に来るでしょうが、その内誰も来なくなります。 豊かで美しい自然とどう共生していくか、 欧米やニュージーランドなどの先進国に滞在し、もっと勉強して下さい。 高速道路を建設するよりも格段に安いです。 今の****、行政幹部の方々は、基本理念を全く理解していないようですね。 言っている事と、行動が出鱈目です。 頭を冷やして、一から出直して下さいな。 一部の利権や、私利私欲で行動しないでいただきたい。 これが日本を悪くする最大の要因です。 一度出来た高速道路は無くなることはありません。 もし、高速道路の恩恵は外れたら、誰が責任を取るのですか。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で「豊かで美しい自然」、「八ヶ岳南麓に豊かで美しい自然が無くなったら」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。「豊かで美しい自然とどう共生していくか」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に「共生」という文言を追記します。</p>
3	<p>北杜市道路河川課御中: 当該プログラムを成功させる為に、 1. 理念(地域をつなぐ、地域を支える、.....)を実現する為のマイルストーン(計画)を明確にする。 2. それを実現する推進組織を明確にする。 3. その組織は、基本方針①(環境・景観)~④(観光)を達成するためのPDCAを回る組織体とし、P、D、C、Aを立案し、結果を収穫する。 4. 各基本方針が「達成された」状態を明確にする。例えば、①(環境・景観)では、「豊かな自然環境との調和とありますが、どのような状態をもって「調和」している、と定義するのかです。カッコいい言葉(～保全、～配慮、～共存)が並んでいますが、私たち市民一人ひとりが「動ける、アクションを起こす」ことができるようなわかりやすい言葉に置き換えることです。 以上</p>	<p>頂いたご意見は、主にまちづくりビジョンの実現に向けた取組と推進体制に関するものと捉えています。 まちづくりビジョンの実現に向けた取組については、ビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プランを策定していくこととなります。 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会においては、「まちづくりビジョン」と「(ビジョンを達成するための)道路プラン」を市長に提言することとなりますが、推進体制については、今後の審議の参考意見とさせていただきます。</p>

「北杜市」からの文書（平成26年6月9日）

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-19

No.	内容	対応案
4	<p>2001年より神奈川から引っ越しをして、北杜市に在住しております。中央高速道路があるおかげで東京との距離も縮まり、必要に応じて車で東京と行き来ができる事の利便性と観光地としての価値の高まりを感じています。</p> <p>ですので、高速道路ができる事に対して「全面的に反対」という訳ではありません。ただ中部横断道路については必要性、利便性がイマイチ見えません。交通量はどれくらいを見込んでいるのでしょうか。当初の計画時には予測数が載っていたと思うのですが正直ちよつと無理がある数字のように感じられました。（今はその予測数が見つけられませんでした）</p> <p>多くの人に利用されてこそ中部横断道路は「商工業の発展」「観光振興」に寄与するのではないのでしょうか。佐久や日本海地域との交通の利便性が上がる事と「地域活性化」との相関関係をもう少し明らかにして欲しいと思います。しかし今の141号線は今のままで良いとは思いません。</p> <p>防災や医療体制の面からも整備が必要だと思えます。片側2車線道路や立体交差にする、またはバイパスをつくる等の整備が必要なのでは無いのでしょうか。無理に高速道路を通すよりもそちらの方が有用に思えるのですが如何でしょうか。</p> <p>また、まちづくりに関してですが、こちらは高速道路を作るよりも「観光資源の見える化」と「企業の誘致」の方が有用だと思えます。北杜市には沢山の観光資源があるのにも関わらず上手くアピールが出来ていないと思えます。こちらは街コンや祭り等のイベントをうまく活用して見える化していけばもっとアピール出来るのでは無いでしょうか。</p> <p>また「企業の誘致」は若者たちの雇用の面で重要です。シニア層は老後の田舎暮らしを目指して移住してきますが残念ながら若者たちは都会に流出してしまっています。これは北杜市内に魅力ある雇用が少ない事が原因の一つであると考えられます。観光だけでなく企業の積極的な誘致も重要なのでは無いでしょうか。長文失礼しました。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「多くの人に利用されてこそ中部横断道路は「商工業の発展」「観光振興」に寄与する」、「佐久や日本海地域との交通の利便性が上がる事と「地域活性化」との相関関係」に関しては、まちづくりビジョン策定の目的である「地域の活性化に結びつける取組や方策等」に関するものと捉えております。「今の141号線は今のままで良いとは思いません」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「観光資源の見える化」、「北杜市には沢山の観光資源があるのにも関わらず上手くアピールが出来ていないと思えます」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「企業の誘致」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「『企業の誘致』は若者たちの雇用の面で重要です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に「若者の雇用につながる」という文言を追加します。</p>
5	<p>北杜市は、家族連れや高齢者をターゲットにした、四季それぞれに楽しめる滞在型の観光地をめざすべきです。滞在型観光地であるための条件は、滞在者が宿泊場所から歩いて自然を満喫することができるコースが整備されていることです。従って、八ヶ岳南麓の魅力を中心に、遊歩道を整備することが欠かせません。特に小海線沿いに、駅から駅に八ヶ岳や南アルプスあるいは田圃の景観を楽しみながらゆっくり歩けるコースを設けることが望まれます。現状では、安心して歩ける道はごく少なく、住民も自動車に奪われるがための外出を強いられています。遊歩道の整備を実施しつつ、住民の理解を得てゾーン30の指定を積極的に目指したり、ドライバーには歩行者に対して徐行を励行するようにキャンペーンを展開するための施策が必要です。中部横断自動車道ができて、観光バスが立ち寄るだけの観光地では、一部の事業者がよごすだけで、住民の生活の質の向上にはつながらなければならず、むしろ低下することが心配されます。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「家族連れや高齢者をターゲットにした、四季それぞれに楽しめる滞在型の観光地をめざすべきです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。また、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p> <p>「八ヶ岳南麓の魅力を中心に、遊歩道を整備することが欠かせません」、「遊歩道の整備を実施しつつ」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「住民の理解を得てゾーン30の指定を積極的に目指したり、ドライバーには歩行者に対して徐行を励行するようにキャンペーンを展開するための施策が必要です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に「歩行者の安全確保」に関する文章を追加します。</p> <p>「観光バスが立ち寄るだけの観光地では、一部の事業者がよごすだけで、住民の生活の質の向上にはつながらなければならず、むしろ低下することが心配されます」に関しては、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p>
6	<p>中部横断自動車道活用検討委員会事務局御中 パブリックコメント 12月8日 NHKの「ヤマナンQUEST」トンネルや橋は、国や県が管理するもの以外に市や町も管理している。調査が始まった北杜市の事例をもとに課題にせまる。という番組でした。***は番組の中で「安全は予算に代えられない。点検だけはちゃんとしていきたい。人口減少、財政が厳しい」と話していた。子育て支援、温泉料金の値上げ問題でも、**、市幹部は口を開けば財政が厳しいと市民の要望を真剣に対応しようとしなかった。それなら、今回の中部横断自動車道活用委員会も根本的に発想を転換して、高速道路建設の財源があるなら、トンネル、橋のインフラ安全対策へ振り向けるよう、国に働きかける委員会に改組して取り組むべきではありませんか。これこそ、**のコメントに答える仕事だと私は考えます。トンネルや橋を通過するたびに不安を抱く生活はまっぴらです。高速道路建設を後押しすることより、山と水、緑と太陽の自然景観を活用すること。この仕事に誇りを持ってガンバってください。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は「北杜市中部横断自動車道活用検討委員会」の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「トンネルや橋を通過するたびに不安を抱く生活はまっぴらです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に「維持・管理」に関する文章を追加します。</p> <p>「山と水、緑と太陽の自然景観を活用すること」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-20

No.	内容	対応案
7	<p>北杜市まちづくりビジョン(素案)達成のための道路プランの検討 (仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えたパブリックコメント)</p> <p>① 次世代が誇りを持てるまちづくりを目指す。 ② 他の地域に無く北杜市のみがもつ『本物・一流』を磨き上げる。 ③ 住民が時間をかけて話し合い、意見の集約をはかり意思決定する。</p> <p>北杜シンポジウム『挑戦から磨かれる地域力』(2013年11月18日、北杜商工会議所主催)においてパネリスト****は地域活性化を論じつつ上記の点を指摘した。傾聴に値する意見と考える。</p> <p>日本において今日地方が難局に陥った原因の一端は、地方の個性と地域の誇れるものをいささか裏手にする一方で、都市がもつ利便性を追求してきたことにある。景観の乱れ、寂れた街区、稼働率の低い施設などはここ北杜市でも散見される。住民が『まちづくりビジョン』を徹底的に考え抜き、市の税制貧窮化につながらぬよう身の丈にあった『まちづくり』を通じて、安全・安心な暮らしを実現していくことが肝要である。</p> <p>中部横断自動車道建設計画については、『まちづくりビジョン』達成に向けて、次の課題に真剣に取り組まなければならないと考える。</p> <p>(1) 経済合理性は確保されているか？ (2) 住民意見の集約は真摯に行われているか？</p> <p>(1) 経済合理性は確保されているか？ 「高速道路が北杜市にもたらす経済価値が地域の負担するコストに見合っているかどうか」の検証が疎かではないか？将来後悔しないようなインフラを整備するためには、地域自らが具体的な数値を基に計画を徹底的に検証・議論することが不可欠である。過去半世紀にわたり過剰気味に投資された交通インフラが今日国民生活に重くのしかかる巨額の財政赤字の主因となった反省にたち、当該道路の経済合理性を北杜市民としても慎重に見極める必要がある。公共事業に回せる国家財源が将来確実に細るなかで、地方が負担するトンネルや橋梁の点検・整備費用の増加はまぬがれえない。また、地域が長い時間をかけて育んできた美田・美林を少なからず失う経済的・環境的損失も少なくない。</p> <p>(2) 住民意見の集約は真摯に行われているか？ 北杜市にあって他の地域にないものの筆頭は『素晴らしい自然景観』であることに異論はなからう。「北杜市がもつ一流の最たるものに傷がつくのではないか」という多くの市民が抱いている懸念について、以下の諸側面から真剣な議論がもたれる。</p> <p>① 次世代が誇りを持てる山岳・里山・農村景観を維持できるだろうか？ ② 景観悪化が北杜市に移り住もうとする人々(潜在的納税者)に失望を与え、土地不動産の資産価値を減じることにはならないだろうか？ ③ 高速道路およびICやPAなどの付帯設備開発が減じる景観の経済価値をどの程度に評価するか？ ④ 「高速道路は(北杜市に)人(観光客)を呼ぶ」と短絡的に考えてよいだろうか？(高速道路・高速鉄道開通により中間観光地が凋落する事例は数多い。) ⑤ 地域活性化効果の大きい滞在型・反復型観光客を念頭に、地域の魅力を高める『まちづくり』と『みちづくり』はどのようにあるべきか？</p> <p>重ねて申し上げるが、地域の住民は『高速道路の経済性(＝損得)』『景観・環境保全』を長期的な視点から具体的かつ公に論じ、時間をかけて意見を集約する努力を積み重ねていくべきであり、それを公平・公正な立場から主導するのは市民の責任にこたえる行政の責務である。 以上</p>	<p>頂いたご意見の中で、「市の税制貧窮化につながらぬよう身の丈にあった『まちづくり』を通じて、安全・安心な暮らしを実現していくことが肝要である。」に関しては、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p> <p>「安全・安心な暮らしを実現」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14から「基本方針:安全・安心で快適な暮らしのために」に位置づけられています。</p> <p>「高速道路が北杜市にもたらす経済価値が地域の負担するコストに見合っているかどうか」の検証、「当該道路の経済合理性を北杜市民としても慎重に見極める必要がある」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。</p> <p>「北杜市にあって他の地域にないものの筆頭は『素晴らしい自然景観』に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地域が長い時間をかけて育んできた美田・美林を少なからず失う経済的・環境的損失も少なくない」、「① 次世代が誇りを持てる山岳・里山・農村景観を維持できるだろうか?」、「② 景観悪化が北杜市に移り住もうとする人々(潜在的納税者)に失望を与え、土地不動産の資産価値を減じることにはならないだろうか?」、「③ 高速道路およびICやPAなどの付帯設備開発が減じる景観の経済価値をどの程度に評価するか?」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12、13「環境・景観」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>④ 「高速道路は(北杜市に)人(観光客)を呼ぶ」と短絡的に考えてよいだろうか?(高速道路・高速鉄道開通により中間観光地が凋落する事例は数多い。)、⑤ 地域活性化効果の大きい滞在型・反復型観光客を念頭に、地域の魅力を高める『まちづくり』と『みちづくり』はどのようにあるべきか?」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18、19「観光」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>『「高速道路の経済性(＝損得)』『景観・環境保全』を長期的な視点から具体的かつ公に論じ、時間をかけて意見を集約する努力を積み重ねていくべき』に関しては、まちづくりビジョン策定にあたっては、パブリックコメントなどにより市民の皆様のご意見を伺いながら検討しているところです。ビジョンを達成するための道路プラン策定においても、引き続き地域の皆様のご意見を伺いながら検討して参ります。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-21

No.	内容	対応案
8	<p>中部横断道の建設には反対です。過去、清里大橋が建設された時も国道141号線からのアクセスが一変してしまい清里の衰退に繋がり、さらに予想された交通量を大幅に下回り採算がとれず山梨県で最も採算のとれない有料道路として結局すぐに無料化されてしまい税金の無駄遣いと言われました。現在のように自動車保有者が年々減少し少子高齢化が進む環境の中でこれ以上の高速道路は不要だと思います。又、JR最高地点と言われる野辺山のように氷点下20度をこえる国内でもっとも厳冬の厳しい気象条件の中を通過する高速道路はリスクが高く災害の拠点となりかねません。又、東北大地震や福島原発の被害が継続し、経済の状況も厳しい中、巨額の費用がかかる高速道路の建設は優先されるべき公共投資とは思われません。さらに、八ヶ岳南麓は世界文化遺産となった富士山の眺望や八ヶ岳や南アルプスの山岳景観の優れた地域でもありこの中に高速道路を通すのは景観保全に反するもので山梨県にとって望ましい整備手法とは思えません。整備すべきはむしろ既存の幹線道路である国道141号線の拡幅・整備だと思います。是非、世界有数の山岳景観を誇るこの美しい環境を守ってほしいと思います。以上。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「JR最高地点と言われる野辺山のように氷点下20度をこえる国内でもっとも厳冬の厳しい気象条件の中を通過する高速道路はリスクが高く災害の拠点となりかねません。」に関しては、冬季の走行安全性に関するご意見と捉えており、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「国道141号線の拡幅・整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「八ヶ岳南麓は世界文化遺産となった富士山の眺望や八ヶ岳や南アルプスの山岳景観の優れた地域でもありこの中に高速道路を通すのは景観保全に反するもの」、「世界有数の山岳景観を誇るこの美しい環境を守ってほしいと思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p>
9	<p>「北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」への意見</p> <ol style="list-style-type: none"> 私は中部横断自動車道の新ルート案には反対です。まだルートが決まっていないこの時期に、北杜市が新ルート案を前提に北杜市中部横断自動車道活用検討委員会(以下、活用検討委員会)を発足させ、そこで議論を進めていることは拙速で、住民を無視していると言わざるを得ません。 活用検討委員会は「B案を前提」に住民や諸団体から意見を聞き、それをまちづくりのプランにまとめあげようとしているようですが、それでは一部の住民の意見しかプランに反映されません。北杜市の将来にわたるまちづくりのプランを作るのであれば、「B案が前提」ということではなく、国道141号の改修など総合的な交通インフラの整備とそれと運動した地域の活性化の方策についての意見を広く募らなければなりません。 まちづくりについて住民から意見を求めるのであれば、中部横断道の「B案」という前提を外して、もっと広範な住民が意見を出せる場として活用検討委員会を位置づけ直ししていくことが必要だと思います。 私は「北杜市まちづくりビジョン(素案)」の「3-3-4環境」で指摘されている八ヶ岳南麓の多様な自然・環境・景観の大切さを守っていくことが、これからのまちづくりにとり一番大切な視点だと考えています。そのため、この自然環境に甚大な悪影響を与えるであろう八ヶ岳南麓を横切るルート的高速道路の建設計画は、見直す必要があると思います。そういう点から、活用検討委員会が自然や環境の重要性を指摘しながらも新ルートを前提に議論を進めようとしている姿勢に疑問を感じます。 活用検討委員会の委員の中に、新ルートの予定地内に土地を所有している複数の有力な委員がいます。そういう委員の構成で議論された内容を、住民が公平・公正と受け止めるかどうか問題があります。活用検討委員会は誰が見ても公平な委員会であることを保障していかなければ、一部の利害関係者の御用機関と見られても仕方がなく、住民の協力は得られなくなります。 活用検討委員会が、中部横断道に関するワーキンググループの「B案が適当」との取りまとめの際の付帯意見を満たすためだけに議論を行っている印象を与えていることは大変残念なことで、委員の方も本意ではないでしょうか。 	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「国道141号の改修など総合的な交通インフラの整備とそれと運動した地域の活性化の方策」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「八ヶ岳南麓の多様な自然・環境・景観の大切さを守っていくことが、これからのまちづくりにとり一番大切な視点だと考えています」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や市域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を聞き、委員による合議制により審議を行うこととなります。</p> <p>また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様を対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくこととなります。</p> <p>さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。</p> <p>こうしたことから、「新ルートの予定地内に土地を所有している複数の有力な委員がいます」という意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところです。</p>

「北杜市」からの文書（平成26年6月9日）

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-22

No.	内容	対応案
10	<p>○北杜市の環境 北杜市は、自然豊かでハケ岳、南アルプス、茅ヶ岳、そして富士山などの眺望も素晴らしい田園地帯である。</p> <p>○北杜市の道路事情 北杜市は、甲州街道や佐久往還に代表されるように交通の要衝でもあった。高速道路は中央自動車道があり、国道20号、141号などの幹線道路がある。</p> <p>今回、中部横断自動車道の代替路線で検討されている国道141号は、小手指の坂、弘法坂など地形の厳しい箇所を通過しているため、災害に影響されやすい面がある。また、須玉町若神子地区の人口集中地区での通過、高根町箕輪地区では歩行者の箕輪バイパス横断途中での交通事故の存在、高根町長沢地区では141号現道拡幅の改良計画が進捗中であるため、新たに国道141号沿線での計画は困難である。</p> <p>○北杜市の懸案 1)平成23年3月の東日本大震災や、平成24年12月の中央道笹子トンネルの天井板崩落事故、さらに今後発生が予想されている南海トラフ地震などの被害を考慮すると、北杜市では、1つの道路が通行不能になった時に救助活動や救援物資の輸送に大きな支障が出る。 →別の方面からアクセスする災害に強い道路ネットワークが必須である。</p> <p>2)高齢化が他地域より進んでいる北杜市で現在利用できる第三次医療施設は、甲府の県立中央病院しかない。 →長野県との県境に位置する北杜市では、隣の長野県・東信地方の佐久総合病院のアクセスを改善し、非常時にも選択肢を増やすことにより、北杜市民の安全・安心に繋げる必要がある。</p> <p>○中部横断自動車道のB案について 1)中部横断道B案の主に沿線住民が、市民団体を設立し、景観や森林などへの自然環境への影響を懸念している。 2)このB案は、田畑などの耕作地を通過するもの、集落などの分断は避けている。</p> <p>○現在までの状況 1)中部横断道のB案は、推進している住民から特に反対意見は出ていない。 2)中部横断道がB案ルートを通ずるにあたり、景観などの環境への対応策は具体化していない。 3)北杜市の住民でのB案についての検討は行われていない。インターネット上では、ハケ岳南麓の元々の住民が閉鎖的という内容も掲載されている。</p> <p>○今後の取組 1)中部横断道の推進、反対に関わらず、住民相互で建設的に意見交換できる場を設けるべきである。 2)懸念されている景観などの自然環境への影響について、B案にこだわらず、具体的な対策を検討すべきである。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「自然豊かでハケ岳、南アルプス、茅ヶ岳、そして富士山などの眺望も素晴らしい田園地帯」、「景観や森林などへの自然環境への影響を懸念している」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「中部横断道がB案ルートを通ずるにあたり、景観などの環境への対応策は具体化していない。」「懸念されている景観などの自然環境への影響について、B案にこだわらず、具体的な対策を検討すべきである」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「国道141号は、小手指の坂、弘法坂など地形の厳しい箇所を通過しているため、災害に影響されやすい面がある」、「須玉町若神子地区の人口集中地区での通過、高根町箕輪地区では歩行者の箕輪バイパス横断途中での交通事故の存在、高根町長沢地区では141号現道拡幅の改良計画が進捗中であるため、新たに国道141号沿線での計画は困難」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「別の方面からアクセスする災害に強い道路ネットワークが必須」、「長野県との県境に位置する北杜市では、隣の長野県・東信地方の佐久総合病院のアクセスを改善し、非常時にも選択肢を増やすこと」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「住民相互で建設的に意見交換できる場を設けるべきである」に関しては、まちづくりビジョン策定にあたっては、パブリックコメントなどにより市民の皆様のご意見を伺いながら検討しているところで、ビジョンを達成するための道路プラン策定においても、引き続き地域の皆様のご意見を伺いながら検討して参ります。</p>
11	<p>中部横断自動車道の延伸の計画についてのパブリックコメントを提出いたします。 まず、この計画について反対します。 その理由は以下の通り ①環境破壊 ②地域振興とはならない ③維持費等、市の財政負担増 ①について ハケ岳南麓は豊かな森林資源等、自然環境に恵まれた地域です。都心にはない自然が数多く残されており、都心から程近く、移住者も多い。移住者の大半は、この豊かな自然環境に魅せられて移住を決断しております。また、近年では、この豊かな自然環境を観光資源として活用すべく、北杜市、富士見町、原村にまたがる「ハケ岳南麓観光圏」も立ち上がり、観光客の来訪に向け数々のPRを執り行っております。 こうした自然環境は、北杜市だけの物ではなく、県を超えてまたがるハケ岳南麓に位置するそれぞれの自治体の共有財産です。北杜市の事情だけで判断するのではなく、隣接する富士見町、原村といった、ルートには含まれていない市町村への影響や、意見を広く収集して検討すべきです。 また、計画されているルートは、北杜市の一部や韮崎市の水源地でもあり、工事における水源地の汚染も懸念されます。 一度破壊された自然は元には戻りません。計画そのものの再考を強く求めます。</p> <p>②について 建設の大きな理由の一つに地域振興があげられております。かつて、「工業団地の造成」「観光振興」の前提として、前項二つをセットにした「高速交通インフラ整備」は、高度成長期における地域振興の三種の神器として位置付けられてきました。 しかしながら、例えば西日本の岡山や広島にまたがる中国山地では、大阪から瀬戸内沿岸を結ぶ大静脈の山陽自動車道が全線開通の1998年に先立つ1978年に「中国縦貫自動車道」が開通しています。では、この中国縦貫自動車道沿線の市町村が、そうした地域振興の恩恵を受けたかといば、決してそうではありません。真庭、津山といった地域では、高速道路の開通がむしろ人口流出を促進した観があり、現実には1980～2010年の間に、この地域の人口は17%も減少してしまっています。道路交通の発達とは、かえって都市圏が身近になり、人口の流出を招くという側面にも留意すべきです。 中部横断自動車道の開通が、観光振興を促すか…という観点も、かえってハケ岳南麓を素通りし、軽井沢等の一次観光地への観光客の流出を招きかねない…という点についても検討すべきです。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は「北杜市中部横断自動車道活用検討委員会」の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「ハケ岳南麓は豊かな森林資源等、自然環境に恵まれた地域」、「計画されているルートは、北杜市の一部や韮崎市の水源地でもあり、工事における水源地の汚染も懸念されます。」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「豊かな自然環境を観光資源として活用すべく、北杜市、富士見町、原村にまたがる「ハケ岳南麓観光圏」も立ち上がり、観光客の来訪に向け数々のPRを執り行っております。」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に位置づけられています。</p> <p>「道路交通の発達とは、かえって都市圏が身近になり、人口の流出を招くという側面に留意すべきです。中部横断自動車道の開通が、観光振興を促すか…という観点も、かえってハケ岳南麓を素通りし、軽井沢等の一次観光地への観光客の流出を招きかねない…という点についても検討すべきです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」、P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-23

No.	内容	対応案
	<p>③)について 高速道路の整備については国の事業でもあり、市への財政的な負担とはならない面もあります。しかしながら、高速道路だけを通せば良いとは決してならず、隣接する市道等も付随して整備が必要となります。今回計画されているルートは、高速道路にも関わらず、またがる各自治体の要望を反映させた結果、高速道路にしては不自然なほどルートが屈折しております。本来であれば直線的に整備した方が建設コスト及び維持に関わるコストを削減できますが、このような不自然なルート計画の結果、建設に関わるコストだけでなく、その後の維持管理にかかるコストも増大することが懸念されます。 高速道路の維持管理については道路公団の負担としても、高速道路に隣接する市道等は市の財政負担です。高速道路整備によって新たに整備が必要となる市道等のインフラも当然発生し、その整備後の維持管理は市の財政負担となります。 以上の理由から新たな高速道路整備は、新たな市の財政負担増ともなり、その財政負担増にみあった経済効果の裏付けがないことから、本整備計画に反対するものであります。</p>	<p>「高速道路整備によって新たに整備が必要となる市道等のインフラも当然発生し、その整備後の維持管理は市の財政負担となります」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。</p>
12	<p>標題: 中部横断自動車道建設案についての意見 北杜市役所道路河川課御中</p> <p>いつもお仕事ご苦労さまです。 私はここ八ヶ岳南麓の魅力に惹かれて12年前に移り住んだものです。景観はもちろん、空気・水・米・野菜そして星空、こんな魅力的な地域は日本全国見渡してもそうそう多くはないと思います。こんなかけがえのない環境を一度壊したら百年たっても取り戻すことは出来ません。</p> <p>中部横断自動車建設のルート案はまさにこの環境を切り裂く計画です。空気も水脈も静けさも星空もすべてを壊してしまう計画です。北杜市に住みやすい市になるよう仕事しておられる皆様はこんな計画に賛成されるとはとても考えられません。国土交通省の計画ですが、地元で働く職員としてどうかこの計画をなくす方向(市民の多くの意見)で努力して頂きたい。</p> <p>我が家はまさにこの計画案の真つただ中にあります。今の生活が壊されることを考えると体調までおかしくなっています。そあいて今住んでいる私ただけではありません。子どもや孫、子子孫に素晴らしい環境を残してやりたいのです。そして国も市も財政の窮迫している状況の中で、借金を増やしてまで必要でない負債を残さないで欲しいのです。これは我々大人の務めではないでしょうか。</p> <p>地域の発展・活性化を考えると、141号線の改修こそが最善の方法だと思います。二十数年前とは時代状況は全く変わっています。しっかり現状を見つめて、市民との対話を大事にしながら市民が喜ぶしの政策を進めて下さい。よろしくお願ひします。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「景観はもちろん、空気・水・米・野菜そして星空、こんな魅力的な地域は日本全国見渡してもそうそう多くはないと思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に「澄んだ空気」という文言を追記します。</p> <p>「地域の発展・活性化を考えると、141号線の改修こそが最善の方法だと思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参るとともに、具体的な取組については、まちづくりビジョン策定後のビジョンを達成するための道路プラン策定の際に検討して参ります。</p>
13	<p>標題: パブリック・コメント 北杜市建設部道路河川課中部横断自動車道(活用)検討委員会事務局殿</p> <p>先ず、宛名に疑問を感じます。活用!?! これは、すでに「高速道路ありき!」の事務局名称になっていますね。</p> <p>高速道路無料化の話は、つい最近、高速道路補修に数兆円が注ぎ込まれる事に決まり私達が生きている間には実現不可能になりました。年間問題と同じように、国が打ち出した試算は、現実を踏まえない机上の空論ばかりで浄財であることを全く無視したものです。限られた「浄財」をいかに有効利用するかを熟慮するのが為政者にとって肝心の…</p> <p>莫大な資金が必要な、長坂!(中央高速道路)と、長野・野辺山方面への道路は中部横断自動車は、少なくとも地元民は望んでいません。R141の改修こそ先決だと実感しているのです。R141は、昨年「空き空き」です。R141を改修してこそ、資金もそして安全安心も確保されるように思うのですが…!?</p> <p>国交省が制作したとしか思えない、素案・ビジョンを読んで沖繩・辺野古と同じ様な、「お上が決めた事」と、大上段の姿勢を感じる事しきり!</p> <p>為政者は、自分のお金だと思って予算も決めるべきです。ましてや、私利私欲のために「公金」ほ利用するのはけしからん次第!!! 「公僕」という言葉が死語にならないことを願ひます。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で「限られた「浄財」をいかに有効利用するかを熟慮する」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。</p> <p>「R141の改修こそ先決だと実感しているのです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>